

平成23年5月

大型コンテナ船（全長370m未満）博多港入出港に 関する船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、博多港アイランドシティ7号岸壁への大型コンテナ船（全長370m未満）の入出港及び係留に関する安全性と必要な航行安全対策について調査・検討した。

博多港においては、今までに、全長345m級のコンテナ船の着離棧実績はあるが、今回の計画はこれを上回る大型コンテナ船を受け入れようとするものであり、入出港の安全性の検討については、数値計算及びビジュアル型操船シミュレータ実験により、航路航行操船、離着岸操船、泊地内回頭操船の各局面における風圧力の操船に及ぼす影響、さらに必要とされるタグボートの支援力等との相関を調査して操船の安全性を検討するとともに、岸壁の防舷材吸収エネルギー等を調査して計画対象船舶の許容接岸速度及び接岸角度等について検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

また、係留に関する安全性については、OCIMFの計算手法を用いて安全に係留可能な外力条件を検討するとともに、望ましい係船索配置を提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 大型コンテナ船受入の概要
- (3) 航行環境
- (4) 検討課題の抽出及び検討方針
- (5) 入出港の安全性に関する基礎検討
- (6) ビジュアル操船シミュレータ実験結果
- (7) 係留の検討
- (8) 総合評価
- (9) 航行安全対策